

9 | 23  
地域住民と  
ふれあう

ふれあい広場  
2012 in おびら



会場を盛り上げた更生園職員によるバンド演奏

おにしか更生園・ほっぶすてっぷ主催の「ふれあい広場」が同園前で開かれ、地域住民ら約500名が交流を深めました。

会場では、同園生らが作った工芸品、パンやハンバーグ等の食品等が販売されたほか、特設ステージでは拓殖短大よさこいチームによる演舞や、更生園職員によるバンド演奏が来場者を盛り上げました。

また、恒例となっている港町一区町内会による流しそうめんも行われ、会場は終始笑顔に包まれました。

9 | 27  
振興局長と  
意見交換

ラウンドテーブル  
ミーティングin小平



和やかに意見を交換したミーティング

留萌振興局主催のラウンドテーブルミーティングin小平が、ゆったりかん研修室で開かれました。

同会は、竹谷振興局長が自ら地域に赴いて意見交換することを目的とし、小平町では2度目の開催となりました。

小平町からは関町長をはじめ、漁業・農業・商工の分野から、岸良齋さん、高野幸子さん、西博志さん、福田ふさ子さん、竹中ますみさんが出席し、和やかな雰囲気の中で、地域の産業等について意見交換をしました。

9 | 27  
旬の食材の  
調理法学ぶ

健康づくり  
料理教室



指導を受け調理する参加者

健康づくり料理教室が文化交流センターで開かれ、15名が参加しました。

この教室は、鮭等の身近な食材の調理法を学び、健康づくりに繋げることを目的とし、今年も小平町出身調理師の葛原正志氏を講師に招いて開催されました。

参加者は、「ポテト包みの秋鮭のソテー・梅とふのりの和風ソース」と「ガスパチョ（トマトと野菜の冷たいスープ）」の2品に挑戦し、葛原氏の説明を受けながら調理法と栄養・健康について理解を深めました。

10 | 1  
不要な布を  
雑巾に

鬼鹿老人クラブ  
(福寿会)  
小学校に寄贈



コツコツと雑巾を縫い上げた福寿会

鬼鹿の老人クラブ福寿会が、町内の小学校に雑巾120枚を寄贈しました。この雑巾は、毎月2度行われる同クラブの例会時に、不要になった布を持ち寄り、女性会員を中心に約1年間かけてコツコツと縫い上げられたものです。

同クラブの会員は、10月から3年間人権擁護委員を再任された佐藤民子さんに雑巾を手渡し、受け取った佐藤さんは小平・鬼鹿の小学校にそれぞれ60枚ずつ送り届けました。